

女性活躍推進法及び

次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業に認定通知書を交付

「女性の活躍推進企業」として（医）和光会、「子育てサポート企業」としてたんぽぽ薬局(株)、東清`（株）、平和メディク（株）が認定されました。

平成29年12月7日（木）岐阜労働局において、認定通知書交付式を行いました。



※写真左から

（医）和光会 和泉部長、 稲原労働局長、 たんぽぽ薬局(株) 柴山人事本部長、 東清`（株）吉村社長、

～認定通知書交付式後、意見交換を行いました～

（医）和光会では、介護の人手不足の問題について、いかに職員が効率よく働けるかあらゆる方向から可能性を探っており、ICT化、AIの導入を計画しています。また、留学生を受け入れたり、障害者、高齢者の方々がそれぞれの能力を活かして働いてもらおうと業務の類型化を行っています。さらに専門研修センターを開設し、地域の方も参加可能な講座を開講し、地域の人々と共に安心安全な町づくりに取り組まれています。

たんぽぽ薬局(株)では患者さんへの薬の情報提供や残薬確認等、薬局に求められる役割が増え、薬と向き合う時間より、人と向き合う時間が増加傾向にあるそうで、今後はIT化を進めて薬に対する時間を減らし、人に対する時間を増やしていきたいとのこと

でした。同社は昨年度、えるぼし認定を受けており、くるみん認定は今回6回目となります。これらの認定に向けた取組が人材の確保に繋がっているようです。

(株)東清`は生活廃棄物処理、下水・浄化槽の管理を行っています。現場に女性労働者が少ないのが現状で、女性が働きやすい環境づくりを課題としています。男性の多い職場で女性が働く上での問題点は何か、困っていることはないか社員に聞きながら、取組を進めているそうです。試行錯誤しているうちに「働きやすさは、ささやかなほんの少しの心遣いから」ということがわかってきたそうで、今後も色々な面でアンテナを張り、女性の活躍に積極的に取り組んでいくとのことでした。

また、行政に対し、生産性向上に係る設備導入や在職者の研修、外国人労働者の日本語教育に対する支援、働きやすい職場環境作りに向けてのコンサルタント派遣等、様々な要望が上げられました。